

# 自動運転・定期中央委員会発言専門協！

本部は3月30日、闘争申第4号(自動運転列車の信号に関わる事象に対する解明要求)・闘争申第5号(定期中央委員会発言)を開催した。

## ◎闘争申第5号(定期中央委員会発言)

・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施されている自車駅での全車扱いやスマートドア使用の延期など今後の考え方。また、職場などの喫煙所の取扱いについて。

会社)今後の国の施策を見て判断を行うこととなる。喫煙所も、コロナによる閉鎖された場所においては同様である。

・乗務員に配布された、個人用携帯電話ケースについて、紛失・故障した場合は補償されたい。

会社)それぞれの事象で、聞き取りを行い一部補填したい。また、フックが外れることは、現場で更にリングを付けるなどの対策をとってもらう。

・キハ185形車両の空調調整などワンマン列車では無理である。

会社)お客さまから申告があった場合には、停車中などに行ってもらいたい。

・各職場において、十分な要員を確保されたい。

会社)十分な要員は確保しているが、嘱託再雇用社員の増加などによる場合など、新規の配属など行っていきたい。

・無人駅の拡大によって、障がい者の方が割引制度を利用することが困難な状態である。

会社)場合によっては、券売機などで、子供用乗車券を購入してもらうように、障がい者団体の方々との懇談会でも話しをおこなっている。

**お客さまにも、社員にも厳しい会社  
誰にでもやさしい鉄道づくりの実現を！**